股票代碼：5498

凱崴電子股份有限公司及子公司

合併財務報告暨會計師核閱報告

民國106及105年第1季

地址：桃園市桃園區興邦路32號

電話：(03)366-0667

§目　　錄§

項目	頁次	財務報告附註編號
一、封　面	1	-
二、目　錄	2	-
三、會計師核閱報告	3	-
四、合併資產負債表	4	-
五、合併綜合損益表	5～6	-
六、合併權益變動表	7	-
七、合併現金流量表	8～9	-
八、合併財務報表附註		
(一) 公司沿革	10	一
(二) 通過合併財務報告之日期及程序	10	二
(三) 新發布及修訂準則及解釋之適用	10～14	三
(四) 重大會計政策之彙總說明	14～15	四
(五) 重大會計判斷、估計及假設不確定性之主要來源	15	五
(六) 重要會計項目之說明	15～29	六～二二
(七) 關係人交易	36	二五
(八) 質押之資產	36	二六
(九) 重大或有負債及未認列之合約承諾	-	-
(十) 重大之災害損失	-	-
(十一) 重大之期後事項	-	-
(十二) 其　他	30～36、37	二三～二四、二七～二八
(十三) 附註揭露事項		
1. 重大交易事項相關資訊	37～38	二九
2. 轉投資事業相關資訊	37～38	二九
3. 大陸投資資訊	38	二九
4. 母子公司間業務關係及重要交易往來情形	38	二九
(十四) 部門資訊	38	三十

Deloitte.

勤業眾信

勤業眾信聯合會計師事務所
10596 台北市民生東路三段156號12樓

Deloitte & Touche
12th Floor, Hung Tai Financial Plaza
156 Min Sheng East Road, Sec. 3
Taipei 10596, Taiwan

Tel :+886 (2) 2545-9988
Fax:+886 (2) 4051-6888
www.deloitte.com.tw

會計師核閱報告

凱崴電子股份有限公司　公鑒：

凱崴電子股份有限公司及其子公司民國 106 年及 105 年 3 月 31 日之合併資產負債表，暨民國 106 年及 105 年 1 月 1 日至 3 月 31 日之合併綜合損益表、合併權益變動表與合併現金流量表業經本會計師核閱竣事。上開合併財務報表之編製係管理階層之責任，本會計師之責任則為根據核閱結果出具報告。

本會計師係依照審計準則公報第三十六號「財務報表之核閱」規劃並執行核閱工作。由於本會計師僅實施分析、比較與查詢，並未依照一般公認審計準則查核，因是無法對上開合併財務報表之整體表示查核意見。

依本會計師核閱結果，並未發現第一段所述合併財務報表在所有重大方面有違反證券發行人財務報告編製準則及經金融監督管理委員會認可並發布生效之國際會計準則第 34 號「期中財務報導」而須作修正之情事。

勤業眾信聯合會計師事務所
會計師　鄭　旭　然

會計師　黃　瑞　展

金融監督管理委員會核准文號
金管證審字第 1010028123 號

證券暨期貨管理委員會核准文號
台財證六字第 0920123784 號

中　華　民　國　106　年　5　月　10　日

凱崴電子股份有限公司及子公司

合併資產負債表

民國 106 年 3 月 31 日暨民國 105 年 12 月 31 日及 3 月 31 日

單位：新台幣仟元

代碼	資產	106年3月31日（經核閱）金額	%	105年12月31日（經查核）金額	%	105年3月31日（經核閱）金額	%
	流動資產						
1100	現金及銀行存款（附註六）	$ 136,288	5	$ 123,461	4	$ 93,575	3
1110	透過損益按公允價值衡量之金融資產－流動（附註七）	163,536	6	131,378	5	158,899	6
1125	備供出售金融資產－流動（附註八）	242,996	9	259,212	9	100,257	4
1150	應收票據（附註九）	36,248	1	39,878	1	21,095	1
1170	應收帳款（附註九）	415,594	15	459,965	16	417,077	15
1200	其他應收款（附註九）	42,790	2	79,022	3	43,872	1
130X	存貨（附註十）	468,415	17	486,022	17	492,187	18
1421	預付款項	28,731	1	19,450	1	31,623	1
1412	預付租賃款（附註十五）	1,300	-	1,375	-	1,473	-
1470	其他流動資產	130	-	1,011	-	634	-
11XX	流動資產總計	1,536,028	56	1,600,774	56	1,360,692	49
	非流動資產						
1543	以成本衡量之金融資產－非流動（附註十一）	38,723	1	38,723	1	69,797	3
1550	採用權益法之投資（附註十三）	6,433	-	6,049	-	5,898	-
1600	不動產、廠房及設備（附註五、十四及二六）	966,139	35	1,009,283	36	1,096,553	40
1805	商譽	7,255	-	7,672	-	8,221	-
1840	遞延所得稅資產（附註四）	75,030	3	77,157	3	81,732	3
1920	存出保證金（附註二二）	1,898	-	1,527	-	9,865	-
1915	預付款項－非流動（附註十四）	33,599	1	8,562	-	12,859	1
1985	長期預付租賃款（附註十五）	75,772	3	80,473	3	87,311	3
1990	其他非流動資產（附註十七）	15,010	1	14,478	1	24,600	1
15XX	非流動資產總計	1,219,859	44	1,243,924	44	1,396,836	51
1XXX	資產總計	$ 2,755,887	100	$ 2,844,698	100	$ 2,757,528	100
代碼	負債及權益						
	流動負債						
2100	短期借款（附註十六）	$ 490,487	18	$ 508,374	18	$ 374,856	13
2110	應付短期票券（附註十六）	54,939	2	54,989	2	24,976	1
2120	透過損益按公允價值衡量之金融負債－流動（附註七）	-	-	381	-	-	-
2150	應付票據	29	-	337	-	17	-
2170	應付帳款	123,948	4	139,997	5	102,437	4
2219	其他應付款	50,177	2	57,861	2	99,207	4
2230	本期所得稅負債（附註四及二十）	13,442	-	12,570	-	912	-
2320	一年內到期之長期借款（附註十六）	44,000	2	44,000	2	44,000	2
2399	其他流動負債	1,449	-	808	-	1,593	-
21XX	流動負債總計	778,471	28	819,317	29	647,998	24
	非流動負債						
2540	長期借款（附註十六）	177,000	6	188,000	7	221,000	8
2570	遞延所得稅負債（附註四）	12,745	1	25,390	1	41,308	1
2630	預收款項（附註十四）	141,646	5	70,761	2	99,626	4
2670	其他非流動負債	633	-	400	-	-	-
25XX	非流動負債總計	332,024	12	284,551	10	361,934	13
2XXX	負債總計	1,110,495	40	1,103,868	39	1,009,932	37
	歸屬於本公司業主之權益						
3100	股本	1,618,959	59	1,618,959	57	1,618,959	59
3200	資本公積	20,565	1	20,565	-	20,565	1
3300	保留盈餘	117,921	4	136,531	5	92,504	3
3400	其他權益	(112,053)	(4)	(35,225)	(1)	15,568	-
31XX	本公司業主權益總計	1,645,392	60	1,740,830	61	1,747,596	63
36XX	非控制權益	-	-	-	-	-	-
3XXX	權益總計	1,645,392	60	1,740,830	61	1,747,596	63
	負債與權益總計	$ 2,755,887	100	$ 2,844,698	100	$ 2,757,528	100

後附之附註係本合併財務報告之一部分。

董事長：周邦基　　經理人：陳柏穎　　會計主管：游章渭

凱崴電子股份有限公司及子公司

合併綜合損益表

民國 106 年及 105 年 1 月 1 日至 3 月 31 日

（僅經核閱，未依一般公認審計準則查核）

單位：新台幣仟元，惟
每股虧損為元

代碼		106年1月1日至3月31日 金額	%	105年1月1日至3月31日 金額	%
4000	營業收入	$ 198,187	100	$ 170,677	100
5000	營業成本（附註十及十九）	178,244	90	142,138	83
5900	營業毛利	19,943	10	28,539	17
	營業費用（附註四、十七及十九）				
6100	推銷費用	12,255	6	14,790	9
6200	管理費用	11,351	6	10,263	6
6300	研究費用	4,117	2	2,133	1
6000	營業費用合計	27,723	14	27,186	16
6900	營業淨利（損）	(7,780)	(4)	1,353	1
	營業外收入及支出				
7010	其他收入（附註十九）	709	1	60	-
7020	其他利益及損失（附註十九）	(6,494)	(3)	865	-
7050	財務成本（附註十九）	(4,024)	(2)	(3,709)	(2)
7060	採用權益法認列之關聯企業利益之份額	384	-	168	-
7000	營業外收入及支出合計	(9,425)	(4)	(2,616)	(2)
7900	稅前淨損	(17,205)	(8)	(1,263)	(1)
7950	所得稅費用（利益）（附註四及二十）	1,405	1	(83)	-
8200	本期淨損	(18,610)	(9)	(1,180)	(1)

（接次頁）

（承前頁）

代碼		106年1月1日至3月31日 金額	%	105年1月1日至3月31日 金額	%
	其他綜合損益				
8360	後續可能重分類至損益之項目				
8361	國外營運機構財務報表換算之兌換差額（附註十八）	($ 71,761)	(36)	($ 19,977)	(11)
8362	備供出售金融資產未實現評價損益（附註十八）	(17,266)	(9)	(27,120)	(16)
8399	與可能重分類之項目相關之所得稅（附註十八及二十）	12,199	6	3,396	2
8300	本期其他綜合損益（稅後淨額）	(76,828)	(39)	(43,701)	(25)
8500	本期綜合損益總額	($ 95,438)	(48)	($ 44,881)	(26)
	淨損歸屬於：				
8610	本公司業主	($ 18,610)	(9)	($ 1,180)	(1)
8620	非控制權益	-	-	-	-
8600		($ 18,610)	(9)	($ 1,180)	(1)
	綜合損益總額歸屬於：				
8710	本公司業主	($ 95,438)	(48)	($ 44,881)	(26)
8720	非控制權益	-	-	-	-
8700		($ 95,438)	(48)	($ 44,881)	(26)
	每股虧損（附註二一）				
9750	基本	($ 0.11)		($ 0.01)	

後附之附註係本合併財務報告之一部分。

董事長：周邦基　經理人：陳柏穎　會計主管：游章渭

凱崴電子股份有限公司及子公司

合併權益變動表

民國 106 年及 105 年 1 月 1 日至 3 月 31 日

（僅經核閱，未依一般公認審計準則查核）

單位：新台幣仟元

代碼		歸屬於本公司業主之權益（附註十八）												
			資本公積			保留盈餘			其他權益項目					
		股本	發行股票溢價	已失效認股權	合計	特別盈餘公積	待彌補虧損	合計	國外營運機構財務報表換算之兌換差額	備供出售金融資產未實現損益	合計	總計	非控制權益	權益總額
A1	105 年 1 月 1 日餘額	$ 1,618,959	$ 1,399	$ 19,166	$ 20,565	$ 158,644	($ 64,960)	$ 93,684	$ 56,040	$ 3,229	$ 59,269	$ 1,792,477	$ -	$ 1,792,477
D1	105 年 1 月 1 日至 3 月 31 日淨損	-	-	-	-	-	(1,180)	(1,180)	-	-	-	(1,180)	-	(1,180)
D3	105 年 1 月 1 日至 3 月 31 日稅後其他綜合損益	-	-	-	-	-	-	-	(16,581)	(27,120)	(43,701)	(43,701)	-	(43,701)
Z1	105 年 3 月 31 日餘額	$ 1,618,959	$ 1,399	$ 19,166	$ 20,565	$ 158,644	($ 66,140)	$ 92,504	$ 39,459	($ 23,891)	$ 15,568	$ 1,747,596	$ -	$ 1,747,596
A1	106 年 1 月 1 日餘額	$ 1,618,959	$ 1,399	$ 19,166	$ 20,565	$ 158,644	($ 22,113)	$ 136,531	($ 37,273)	$ 2,048	($ 35,225)	$ 1,740,830	$ -	$ 1,740,830
D1	106 年 1 月 1 日至 3 月 31 日淨損	-	-	-	-	-	(18,610)	(18,610)	-	-	-	(18,610)	-	(18,610)
D3	106 年 1 月 1 日至 3 月 31 日稅後其他綜合損益	-	-	-	-	-	-	-	(59,562)	(17,266)	(76,828)	(76,828)	-	(76,828)
Z1	106 年 3 月 31 日餘額	$ 1,618,959	$ 1,399	$ 19,166	$ 20,565	$ 158,644	($ 40,723)	$ 117,921	($ 96,835)	($ 15,218)	($ 112,053)	$ 1,645,392	$ -	$ 1,645,392

後附之附註係本合併財務報告之一部分。

董事長：周邦基　　經理人：陳柏穎　　會計主管：游章淵

凱崴電子股份有限公司及子公司

合併現金流量表

民國 106 年及 105 年 1 月 1 日至 3 月 31 日

（僅經核閱，未依一般公認審計準則查核）

單位：新台幣仟元

代　碼		106年1月1日 至3月31日	105年1月1日 至3月31日
	營業活動之現金流量		
A10000	稅前淨損	($ 17,205)	($ 1,263)
A20010	收益費損項目		
A20300	呆帳費用（迴轉利益）	(182)	1,928
A20100	折舊費用	15,286	16,937
A20200	攤銷費用	1,393	1,543
A20900	財務成本	4,024	3,709
A21200	利息收入	(329)	(60)
A21300	股利收入	(380)	-
A20400	透過損益按公允價值衡量金融資產評價利益	(5,135)	(2,518)
A22300	採用權益法認列之關聯企業利益之份額	(384)	(168)
A23100	處分投資損失（利益）	143	(421)
A24100	未實現外幣兌換損失	8,150	206
A30000	與營業活動相關之資產／負債變動數		
A31110	透過損益按公允價值衡量之金融資產	(29,201)	(125,966)
A31130	應收票據	2,022	(8,114)
A31150	應收帳款	20,875	26,050
A31180	其他應收款	36,889	735
A31200	存　　貨	(619)	5,893
A31230	預付款項	(9,293)	(6,597)
A31240	其他流動資產	881	214
A32130	應付票據	(308)	(257)
A32150	應付帳款	(10,296)	(898)
A32180	其他應付款項	(7,551)	360
A32230	其他流動負債	641	117
A33000	營運產生之現金	9,421	(88,570)
A33100	收取之利息	329	60

（接次頁）

（承前頁）

代　碼		106年1月1日 至3月31日	105年1月1日 至3月31日
A33300	支付之利息	($ 4,037)	($ 3,817)
A33200	收取之股利	380	-
AAAA	營業活動之淨現金流入（出）	6,093	(92,327)
	投資活動之現金流量		
B00300	取得備供出售金融資產	(1,274)	-
B00400	處分備供出售金融資產價款	107	1
B02000	預付款項增加	(25,873)	(13,970)
B02700	購置不動產、廠房及設備	(10,369)	(258)
B02900	預收款項增加	70,885	99,626
B03800	存出保證金增加	(380)	(7,920)
B07100	其他非流動資產增加	(1,536)	(5,237)
BBBB	投資活動之淨現金流入	31,560	72,242
	籌資活動之現金流量		
C00100	短期借款減少	(17,219)	(7,331)
C00600	應付短期票券（減少）增加	(50)	8
C01700	償還長期借款	(11,000)	(11,000)
CCCC	籌資活動之淨現金流出	(28,269)	(18,323)
DDDD	匯率變動對現金及銀行存款之影響	3,443	(3,725)
EEEE	本期現金及銀行存款淨增加（減少）	12,827	(42,133)
E00100	期初現金及銀行存款餘額	123,461	135,708
E00200	期末現金及銀行存款餘額	$ 136,288	$ 93,575

後附之附註係本合併財務報告之一部分。

董事長：周邦基　　經理人：陳柏穎　　會計主管：游章渭

凱崴電子股份有限公司及子公司

合併財務報表附註

民國 106 年及 105 年 1 月 1 日至 3 月 31 日

（僅經核閱，未依一般公認審計準則查核）

（除另予註明外，金額係以新台幣仟元為單位）

一、公司沿革

凱崴電子股份有限公司（以下簡稱本公司）於 86 年 2 月 27 日奉准設立登記，主要經營電鍍液、乾膜、鑽頭等印刷電路板原材料之設計、製造及加工業務，並自 101 年起拓展商品經銷之業務。本公司發行之普通股股票自 90 年 3 月 29 日起於財團法人中華民國證券櫃檯買賣中心掛牌交易。

本合併財務報告係以本公司之功能性貨幣新台幣表達。

二、通過財務報告之日期及程序

本合併財務報告於 106 年 5 月 9 日經董事會通過。

三、新發布及修訂準則及解釋之適用

(一) 首次適用修正後之證券發行人財務報告編製準則及經金融監督管理委員會（以下稱「金管會」）認可並發布生效之國際財務報導準則（IFRS）、國際會計準則（IAS）、解釋（IFRIC）及解釋公告（SIC）（以下稱「IFRSs」）

除下列說明外，適用修正後之證券發行人財務報告編製準則及金管會認可並發布生效之 IFRSs 將不致造成合併公司會計政策之重大變動：

1. IAS 36 之修正「非金融資產可回收金額之揭露」

IAS 36 之修正係釐清合併公司僅須於認列或迴轉資產或現金產生單位減損損失當期揭露其可回收金額。此外，已認列或迴轉減損之可回收金額若以公允價值減處分成本衡量，合併公司將揭露公允價值層級，對屬第 2 或 3 等級公允價值衡量，並將額外揭露衡量公允價值之評價技術及每一關鍵假設。若以現值法衡量公允價值減處分成本，須增加揭露所採用之折現率。

2. IAS 16 之修正「可接受之折舊及攤銷方法之闡釋」

企業應採用適當之折舊及攤銷方法以反映其消耗該不動產、廠房及設備與無形資產未來經濟效益之預期型態。

IAS 16「不動產、廠房及設備」之修正規定，收入並非衡量不動產、廠房及設備折舊費用之適當基礎，且該修正並未提供得以收入為基礎提列折舊費用之例外規定。

3. IAS 證券發行人財務報告編製準則之修正

該修正除配合金管會認可並發布生效之 IFRSs 新增若干會計項目及非金融資產減損揭露規定外，另配合國內實施 IFRSs 情形，強調若干認列與衡量規定，並新增關係人交易及商譽等揭露。

該修正規定，其他公司或機構與合併公司之董事長或總經理為同一人，或具有配偶或二親等以內關係者，除能證明不具控制或重大影響者外，係屬實質關係人。此外，該修正規定應揭露與合併公司進行重大交易之關係人名稱及關係，若單一關係人交易金額或餘額達合併公司各該項交易總額或餘額 10%以上者，應按關係人名稱單獨列示。

此外，若被收購公司於合併後之實際營運情形與收購時之預期效益有重大差異者，該修正規定應附註揭露。

106 年追溯適用前述修正時，係增加關係人交易之揭露，請參閱附註二五。

(二) IASB 已發布但尚未經金管會認可並發布生效之 IFRSs

合併公司未適用下列業經 IASB 發布但未經金管會認可並發布生效之 IFRSs。截至本合併財務報告通過發布日止，除 IFRS 9 及 IFRS 15 應自 107 年度開始適用外，金管會尚未發布其他準則生效日。

新發布／修正／修訂準則及解釋	IASB發布之生效日(註1)
「2014-2016週期之年度改善」	註2
IFRS 2之修正「股份基礎給付交易之分類與衡量」	2018年1月1日
IFRS 9「金融工具」	2018年1月1日
IFRS 9及IFRS 7之修正「強制生效日及過渡揭露」	2018年1月1日
IFRS 10及IAS 28之修正「投資者與其關聯企業或合資間之資產出售或投入」	未定
IFRS 15「客戶合約之收入」	2018年1月1日
IFRS 15之修正「IFRS 15之闡釋」	2018年1月1日
IFRS 16「租賃」	2019年1月1日
IAS 7之修正「揭露倡議」	2017年1月1日
IAS 12之修正「未實現損失之遞延所得稅資產之認列」	2017年1月1日
IAS 40之修正「投資性不動產之轉換」	2018年1月1日
IFRIC 22「外幣交易與預收付對價」	2018年1月1日

註1：除另註明外，上述新發布／修正／修訂準則或解釋係於各該日期以後開始之年度期間生效。

註2：IFRS 12之修正係追溯適用於2017年1月1日以後開始之年度期間；IAS 28之修正係追溯適用於2018年1月1日以後開始之年度期間。

1. IFRS 9「金融工具」

<u>金融資產之認列及衡量</u>

就金融資產方面，所有原屬於IAS 39「金融工具：認列與衡量」範圍內之金融資產後續衡量係以攤銷後成本衡量或以公允價值衡量。IFRS 9對金融資產之分類規定如下。

合併公司投資之債務工具，若其合約現金流量完全為支付本金及流通在外本金金額之利息，分類及衡量如下：

(1) 以收取合約現金流量為目的之經營模式而持有該金融資產，則該金融資產係以攤銷後成本衡量。此類金融資產後續係按有效利率認列利息收入於損益，並持續評估減損，減損損益認列於損益。

(2) 藉由收取合約現金流量與出售金融資產而達成目的之經營模式而持有該金融資產，則該金融資產係以透過其他綜合

損益按公允價值衡量。此類金融資產後續係按有效利率認列利息收入於損益，並持續評估減損，減損損益與兌換損益亦認列於損益，其他公允價值變動則認列於其他綜合損益。於該金融資產除列或重分類時，原先累積於其他綜合損益之公允價值變動應重分類至損益。

合併公司投資非屬前述條件之金融資產，係以公允價值衡量，公允價值變動認列於損益。惟合併公司得選擇於原始認列時，將非持有供交易之權益投資指定為透過其他綜合損益按公允價值衡量。此類金融資產除股利收益認列於損益外，其他相關利益及損失係認列於其他綜合損益，後續無須評估減損，累積於其他綜合損益之公允價值變動亦不重分類至損益。

金融資產之減損

IFRS 9 改採用「預期信用損失模式」認列金融資產之減損。以攤銷後成本衡量之金融資產、強制透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產、應收租賃款、IFRS 15「客戶合約之收入」產生之合約資產或放款承諾及財務保證合約，係認列備抵信用損失。若前述金融資產之信用風險自原始認列後並未顯著增加，則其備抵信用損失係按未來 12 個月之預期信用損失衡量。若前述金融資產之信用風險自原始認列後已顯著增加且非低信用風險，則其備抵信用損失係按剩餘存續期間之預期信用損失衡量。但未包括重大財務組成部分之應收帳款必須按存續期間之預期信用損失衡量備抵信用損失。

此外，原始認列時已有信用減損之金融資產，合併公司考量原始認列時之預期信用損失以計算信用調整後之有效利率，後續備抵信用損失則按後續預期信用損失累積變動數衡量。

過渡規定

IFRS 9 生效時，首次適用日前已除列之項目不得適用。金融資產之分類、衡量與減損應追溯適用，惟合併公司無須重編比較期間，並將首次適用之累積影響數認列於首次適用日。一

般避險會計應推延適用，惟避險選擇權之損益認列則須追溯適用。

2. IFRS 15「客戶合約之收入」及相關修正

IFRS 15 係規範來自客戶合約之收入認列原則，該準則將取代 IAS 18「收入」、IAS 11「建造合約」及相關解釋。

合併公司於適用 IFRS 15 時，係以下列步驟認列收入：

(1) 辨認客戶合約；

(2) 辨認合約中之履約義務；

(3) 決定交易價格；

(4) 將交易價格分攤至合約中之履約義務；及

(5) 於滿足履約義務時認列收入。

於辨認履約義務時，IFRS 15 及相關修正規定，若商品或勞務能被區分（例如，經常單獨銷售某一商品或勞務），且移轉商品或勞務之承諾依合約之內涵係可區分（亦即，合約承諾之性質係為個別移轉每一商品或勞務，而非移轉組合產出），則該商品或勞務係可區分。

IFRS 15 及相關修正生效時，合併公司得選擇追溯適用至比較期間或將首次適用之累積影響數認列於首次適用日。

除上述影響外，截至本合併財務報告通過發布日止，合併公司仍持續評估其他準則、解釋之修正對財務狀況與財務績效之影響，相關影響待評估完成時予以揭露。

四、重大會計政策之彙總說明

(一) 遵循聲明

本合併財務報告係依照證券發行人財務報告編製準則及經金管會認可並發布生效之 IAS 34「期中財務報導」編製。本合併財務報告並未包含整份年度財務報告所規定之所有 IFRSs 揭露資訊。

(二) 合併基礎

子公司明細、持股比例及營業項目，參閱附註十二及附表四。

(三) 其他重大會計政策

除下列說明外，請參閱 105 年度合併財務報告之重大會計政策彙總說明。

1. 確定福利退職後福利

期中期間之退休金成本係採用前一年度結束日依精算決定之退休金成本率，以年初至當期末為基礎計算，並針對本期之重大市場波動，及重大計畫修正、清償或其他重大一次性事項加以調整。

2. 所得稅

所得稅費用係當期所得稅及遞延所得稅之總和。期中期間之所得稅係以年度為基礎進行評估，以預期年度總盈餘所適用之稅率，就期中稅前利益予以計算。

五、重大會計判斷、估計及假設不確定性之主要來源

除下列說明外，本合併財務報告採用之重大會計判斷、估計及假設不確定性主要來源請參閱 105 年度合併財務報告。

不動產、廠房及設備之殘值

如 105 年度合併財務報告附註四(八)所述，合併公司於每一資產負債表日檢視不動產、廠房及設備之殘值。昆山滬崴及昆山威興原設址於中國江蘇省昆山市花橋鎮花安路 1999 號，因配合當地政府動遷要求，取得動遷補償款人民幣 152,206 仟元（說明詳附註十四），其中不可搬遷物之動遷補償款人民幣 124,555 仟元高於不可搬遷物之帳面價值人民幣 71,100 仟元，因是擬依國際會計準則第 16 號「不動產、廠房及設備」及第 8 號「會計政策、會計估計變動及錯誤」之規定，自 105 年 1 月 1 日起變更不可搬遷物殘值之估計，此一估計變動預計將使 105 年度之折舊費用減少計人民幣 4,447 仟元。

六、現金及銀行存款

	106年3月31日	105年12月31日	105年3月31日
庫存現金	$ 1,280	$ 4,796	$ 1,716
銀行支票及活期存款	135,008	118,665	91,859
	$ 136,288	$ 123,461	$ 93,575

七、透過損益按公允價值衡量之金融工具

	106年3月31日	105年12月31日	105年3月31日
金融資產－流動			
指定透過損益按公允價值衡量			
結構式存款(一)	$ 30,772	$ 32,543	$ 100,389
持有供交易			
衍生工具			
遠期外匯合約(二)	498	-	305
非衍生金融資產			
國內上市櫃股票	-	13,211	58,205
國外上市櫃股票	88,621	85,624	-
基金受益憑證	43,645	-	-
	$ 163,536	$ 131,378	$ 158,899
金融負債－流動			
衍生工具			
遠期外匯合約(二)	$ -	$ 381	$ -

(一) 合併公司與銀行簽訂之結構式定期存款合約包括一項非與主契約緊密關聯之嵌入式衍生工具。

(二) 合併公司從事遠期外匯衍生性金融商品交易之目的，主要係為規避外幣資產因匯率波動所產生之風險。

於資產負債表日尚未到期之遠期外匯合約如下：

	幣別	到期期間	合約金額（仟元）
106年3月底			
賣出遠期外匯	美元兌新台幣	106.4.7-106.5.5	USD 350
105年12月31日			
賣出遠期外匯	美元兌新台幣	106.2.7-106.5.5	USD 680
105年3月底			
賣出遠期外匯	美元兌新台幣	105.4.8~105.7.7	USD 580

八、備供出售金融資產－流動

	106年3月31日	105年12月31日	105年3月31日
國內上櫃及興櫃股票	$ 242,996	$ 259,212	$ 100,257

備供出售金融資產公允價值之決定，請參閱附註二四。

九、應收票據、應收帳款及其他應收款－淨額

	106年3月31日	105年12月31日	105年3月31日
應收票據			
因營業而發生	$ 36,872	$ 40,538	$ 21,802
減：備抵呆帳	(624)	(660)	(707)
	$ 36,248	$ 39,878	$ 21,095
應收帳款			
因營業而發生	$ 561,521	$ 613,114	$ 581,488
減：備抵呆帳	(145,927)	(153,149)	(164,411)
	$ 415,594	$ 459,965	$ 417,077
其他應收款			
其　　他	$ 42,790	$ 50,593	$ 43,872
應收處分投資款	-	28,429	-
	$ 42,790	$ 79,022	$ 43,872

應收票據及帳款

合併公司對商品銷售之平均授信期間為 120～180 天。於決定應收帳款可回收性時，合併公司考量應收帳款自原始授信日至資產負債表日信用品質之任何改變。由於歷史經驗顯示逾期超過 360 天之應收帳款無法回收，合併公司對於帳齡超過 360 天之應收帳款認列 100%備抵呆帳，對於帳齡在 180 天至 360 天之間之應收帳款，其備抵呆帳係參考交易對方過去拖欠記錄及分析其目前財務狀況，以估計無法回收之金額。

於 106 年 3 月 31 日暨 105 年 12 月 31 日及 3 月 31 日之應收帳款餘額中，顯著集中於重要客戶而存在之信用風險，請參閱附註二四。

於資產負債表日已逾期但合併公司尚未認列備抵呆帳之應收帳款，因其信用品質並未重大改變，合併公司管理階層認為仍可回收其金額，合併公司對該等應收帳款亦維持相關信用增強保障。

已逾期但未減損應收帳款之帳齡分析如下：

	106年3月31日	105年12月31日	105年3月31日
90 天以下	$ -	$ 33	$ -
91 至 180 天	6,414	4,171	5,875
181 至 270 天	237	105	73
270 天以上	5,049	4,644	12,504
合　　計	$ 11,700	$ 8,953	$ 18,452

以上係以立帳日為基準進行之帳齡分析，於106年3月31日暨105年12月31日及3月31日之已逾期270天以上之應收帳款中分別約有4,373仟元、4,624仟元及4,955仟元係屬代銷協議產生之款項，是項帳款已於102年9月取得進貨廠商同意於款項收回前始支付之協議。

應收票據及帳款之備抵呆帳變動資訊如下：

	個別評估減損損失	群組評估減損損失	合計
105年1月1日餘額	$ 160,113	$ 5,155	$ 165,268
本期提列（迴轉）減損損失	(918)	2,846	1,928
外幣換算差額	(1,960)	(118)	(2,078)
105年3月31日餘額	$ 157,235	$ 7,883	$ 165,118
106年1月1日餘額	$ 147,314	$ 6,495	$ 153,809
本期迴轉減損損失	(182)	-	(182)
外幣換算差額	(6,723)	(353)	(7,076)
106年3月31日餘額	$ 140,409	$ 6,142	$ 146,551

截至106年3月31日暨105年12月31日及3月31日止，備抵呆帳金額其中包括處於重大財務困難之個別已減損應收帳款，其金額分別為140,409仟元、147,314仟元及157,235仟元，主係於97年提列。所認列之減損損失為應收帳款帳面金額與預期清算回收金額現值之差額。合併公司對該等應收帳款餘額並未持有任何擔保品。

十、存貨－淨額

	106年3月31日	105年12月31日	105年3月31日
原料	$ 10,443	$ 9,792	$ 32,518
物料	21,282	21,920	3,515
在製品	159,852	171,188	175,153
製成品	272,260	278,986	279,900
在途商品	4,578	4,136	1,101
	$ 468,415	$ 486,022	$ 492,187

106年3月31日暨105年12月31日及3月31日之備抵存貨跌價損失分別為14,628仟元、15,228仟元及16,018仟元。

106年及105年1月1日至3月31日與存貨相關之銷貨成本分別為178,244仟元及142,138仟元。

十一、以成本衡量之金融資產

	106年3月31日		105年12月31日		105年3月31日	
	金　　額	持股%	金　　額	持股%	金　　額	持股%
國內未上市（櫃）普通股						
漢宇創業投資股份有限公司	$ 15,923	4.44	$ 15,923	4.44	$ 15,923	4.44
國外未上市（櫃）普通股						
Concord Venture Capital Group Limited	22,800	13.57	22,800	13.57	22,800	13.57
Ultimate Access International Fund IX	-	-	-	-	31,074	-
	$ 38,723		$ 38,723		$ 69,797	

合併公司所持有之上述未上市（櫃）股票投資，於資產負債表日係按成本減除減損損失衡量，因其公允價值合理估計數之區間重大且無法合理評估各種估計之機率，致合併公司管理階層認為其公允價值無法可靠衡量。

	106年3月31日	105年12月31日	105年3月31日
依金融資產衡量種類區分			
備供出售金融資產	$ 38,723	$ 38,723	$ 69,797

十二、子　公　司

列入合併財務報告之子公司

本合併財務報告編製主體如下：

投資公司名稱	子公司名稱	業務性質	所持股權百分比 106年3月31日	105年12月31日	105年3月31日
本公司	Key Ware International Limited	一般投資	100%	100%	100%
本公司	慧朋科技股份有限公司	電子零組件、機械設備	99.99%	99.99%	99.99%
Key Ware International Limited	Advisor Move Investments Limited	一般投資	100%	100%	100%
Key Ware International Limited	Module System International Limited	一般投資	100%	100%	100%
Advisor Move Investments Limited	昆山滬崴電子有限公司	鑽孔工具、手工用具	100%	100%	100%
Module System International Limited	昆山威興電子有限公司	鑽孔工具、手工用具	100%	100%	100%
昆山滬崴電子有限公司	昆山鐳崴光電科技有限公司	鐳射鑽孔代工	100%	100%	100%

慧朋科技股份有限公司係非重要子公司，其財務報告未經會計師核閱。

十三、採用權益法之投資

合併公司之關聯企業列示如下：

被投資公司	106年3月31日 金額	106年3月31日 持股%	105年12月31日 金額	105年12月31日 持股%	105年3月31日 金額	105年3月31日 持股%
不具重大性之關聯企業						
榮沛科技股份有限公司	$ 6,433	22.73	$ 6,049	22.73	$ 5,898	22.73

採用權益法之投資及合併公司對其享有之損益及其他綜合損益份額，係按被投資公司同期間未經會計師核閱之財務報表計算；惟合併公司管理階層認為上述被投資公司財務報告未經會計師核閱，尚不致產生重大影響。

十四、不動產、廠房及設備－淨額

	106年3月31日	105年12月31日	105年3月31日
每一類別之淨額			
自有土地	$ 113,167	$ 113,167	$ 113,167
房屋及建築	426,646	443,592	498,336
機器設備	413,660	439,060	470,248
運輸設備	1,349	1,506	1,441
辦公設備	2,215	2,246	2,198
其他設備	9,102	9,712	11,163
	$ 966,139	$ 1,009,283	$ 1,096,553

(一) 除認列折舊費用外，合併公司之不動產、廠房及設備於106年及105年1月1日至3月31日並未發生重大增添、處分及減損情形。

(二) 不動產、廠房及設備係以直線基礎按下列耐用年數計提折舊：

房屋及建築	20至50年
機器設備	2至13年
運輸設備	3至5年
辦公設備	3至8年
其他設備	3至20年

(三) 昆山滬崴及昆山威興原設址於中國江蘇省昆山市花橋鎮花安路1999號，因上海軌道交通11號線北段工程之需要，並配合當地主管機關花橋經濟開發區規劃建設局動遷要求，由董事會授權董事長依法辦理動遷補償合同簽約事宜。本次動遷補償協議書業已於104年12月11日由『昆山市花橋鎮動遷辦公室』與昆山滬崴雙方簽訂完成，內

容針對昆山滬崴及昆山威興不可搬遷物及停產停業、搬遷等補償，協議書主要條款如下：

1. 補償金額總計人民幣 152,206 仟元；
2. 昆山市花橋鎮動遷辦公室應於動遷協議簽訂後三年內支付動遷補償款，第一年內支付人民幣計 50,000 仟元（已於 105 年 1 月及 9 月與 106 年 1 月分別支付 20,000 仟元、13,000 仟元及 17,000 仟元）；第二年內支付人民幣計 70,000 仟元；第三年內支付剩餘動遷補償款計人民幣 32,206 仟元。
3. 昆山滬崴及昆山威興應於動遷協議簽訂日起算二年內將舊廠房移交予昆山市花橋鎮動遷辦公室。

昆山滬崴已於 105 年 12 月 23 日搬遷並移交部分廠房予昆山市花橋鎮動遷辦公室，故依據移交廠房面積佔昆山滬崴所有廠房面積之比例認列搬遷利益人民幣 11,626 仟元。

(四) 為配合昆山滬崴及昆山威興廠房搬遷一事，昆山滬崴於 105 年 11 月與承包商簽訂圍牆大門工程合約，總價款為人民幣 2,000 仟元（帳列預付款項—非流動），主係新廠房之大門圍牆及其他臨時項目之興建工程；於 106 年 3 月與承包商簽訂建設工程施工合約，總價款為人民幣 24,400 仟元（已於 106 年 3 月支付人民幣 3,660 仟元簽約款（帳列預付款項—非流動）），主係廠房、配電房、回收房及警衛室之樁基、土建及安裝，預計於 106 年 12 月完工。

(五) 合併公司設定質押作為借款擔保之不動產、廠房及設備金額，請參閱附註二六。

十五、<u>預付租賃款</u>

於合併資產負債表分別列為：

	106年3月31日	105年12月31日	105年3月31日
流　動	$ 1,300	$ 1,375	$ 1,473
非流動	75,772	80,473	87,311
	$ 77,072	$ 81,848	$ 88,784

係昆山滬崴及昆山威興分別取得之土地使用權，除認列攤銷費用外，合併公司之預付租賃款於106年及105年1月1日至3月31日並未發生重大支付或收回情形。

十六、借　　款

(一) 短期借款

	106年3月31日	105年12月31日	105年3月31日
無擔保借款			
信用額度借款	$ 490,487	$ 508,374	$ 374,856

銀行週轉性借款之利率於106年3月31日暨105年12月31日及3月31日如下：

	106年3月31日	105年12月31日	105年3月31日
美　　金	-	-	3.80%
台　　幣	1.89%-2.37%	1.89%-2.37%	1.95%-2.43%
日　　幣	0.98%-1.35%	0.98%-1.33%	1.06%-1.52%

(二) 應付短期票券

	106年3月31日	105年12月31日	105年3月31日
應付商業本票	$ 55,000	$ 55,000	$ 25,000
減：應付短期票券折價	61	11	24
	$ 54,939	$ 54,989	$ 24,976

尚未到期之應付短期票券如下：

106年3月31日

保證／承兌機構	票面金額	折價金額	帳面金額	利率區間	擔保品名稱	擔保品帳面金額
應付商業本票						
兆豐票券	$ 25,000	$ 34	$ 24,966	1.45%	-	$ -
國際票券	20,000	23	19,977	0.62%	-	-
台灣票券	10,000	4	9,996	0.85%	-	-
	$ 55,000	$ 61	$ 54,939			$ -

105 年 12 月 31 日

保證／承兌機構	票面金額	折價金額	帳面金額	利率區間	擔保品名稱	擔保品帳面金額
應付商業本票						
兆豐票券	$ 25,000	$ 4	$ 24,996	1.45%	-	$ -
國際票券	20,000	2	19,998	0.52%	-	-
台灣票券	10,000	5	9,995	0.85%	-	-
	$ 55,000	$ 11	$ 54,989			$ -

105 年 3 月 31 日

保證／承兌機構	票面金額	折價金額	帳面金額	利率區間	擔保品名稱	擔保品帳面金額
應付商業本票						
兆豐票券	$ 25,000	$ 24	$ 24,976	1.80%	-	$ -

(三) 長期借款

	106年3月31日	105年12月31日	105年3月31日
擔保借款			
銀行借款	$ 221,000	$ 232,000	$ 265,000
減：列為 1 年內到期部分	(44,000)	(44,000)	(44,000)
	$ 177,000	$ 188,000	$ 221,000

本公司為營運週轉及償還已到期之可轉換公司債，於 103 年度申請不動產擔保借款 276,000 仟元之額度，於 105 年 2 月起每季償還本金 11,000 仟元，並於 108 年 11 月到期，截至 106 年 3 月 31 日暨 105 年 12 月 31 日及 3 月 31 日止，有效年利率分別為 2.20%、2.20% 及 2.35%。

十七、退職後福利計畫

(一) 確定提撥計畫－台灣

本公司所適用「勞工退休金條例」之退休金制度，係屬政府管理之確定提撥退休計畫，依員工每月薪資 6%提撥退休至勞工保險局之個人退休金專戶。

本公司於 106 及 105 年 1 月 1 日至 3 月 31 日依照確定提撥計畫中明定比例應提撥之金額已於合併綜合損益表認列為費用總額分別為 956 仟元及 814 仟元。

(二) 確定提撥計畫－大陸

合併公司於大陸之子公司之員工，按中華人民共和國政府規定之養老保險制度，每月依員工薪資總額之一定比例提撥養老保險金（帳列員工保險費用），其提撥比率為 18%，專戶儲蓄於各員工獨立帳戶。每月員工之退休金由政府管理統籌安排，大陸子公司除按月提撥外並無其他義務。

合併公司於大陸之子公司於 106 及 105 年 1 月 1 日至 3 月 31 日依照確定提撥計畫中明定比例應提撥之金額已於合併綜合損益表認列為費用總額分別為 663 仟元及 758 仟元。

(三) 確定福利計畫

106 年及 105 年 1 月 1 日至 3 月 31 日認列之確定福利計畫相關退休金費用，係以 105 年及 104 年 12 月 31 日精算決定之退休金成本率計算，金額分別為 233 仟元及 240 仟元（帳列管理費用）。

十八、權　　益

(一) 普通股股本

	106年3月31日	105年12月31日	105年3月31日
額定股本	$ 2,000,000	$ 2,000,000	$ 2,000,000
額定股數（仟股）	200,000	200,000	200,000
已發行股本	$ 1,618,959	$ 1,618,959	$ 1,618,959
已發行股數（仟股）	161,896	161,896	161,896

已發行之普通股每股面額為 10 元，每股享有一表決權及收取股利之權利。

(二) 資本公積

	106年3月31日	105年12月31日	105年3月31日
得用以彌補虧損、發放現金或撥充股本（註1）			
股票發行溢價	$ 1,399	$ 1,399	$ 1,399
僅得用以彌補虧損（註2）			
可轉換公司債之失效認股權	19,166	19,166	19,166
	$ 20,565	$ 20,565	$ 20,565

註 1： 此類資本公積得用以彌補虧損，亦得於公司無虧損時，用以發放現金或撥充股本，惟撥充股本時每年以實收股本之一定比率為限。

註 2： 此類資本公積係因公司債到期清償，將該轉換權視為失效未行使，尚不得發放現金或撥充股本。

(三) 保留盈餘及股利政策

依 104 年 5 月公司法之修正，股息及紅利之分派限於股東，員工非屬盈餘分派之對象。本公司已於 105 年 6 月 28 日股東常會決議通過修正章程之盈餘分派政策，並於章程中另外訂定員工酬勞之分派政策。

修正後章程之盈餘分派政策規定，本公司年度決算如有盈餘，依法繳納稅捐，彌補累積虧損後，再提 10%為法定盈餘公積，其餘再依法令規定提列或迴轉特別盈餘公積；如尚有餘額，併同累積未分配盈餘，由董事會擬具盈餘分配議案，提請股東會決議分派股東股息紅利。修正後章程之員工及董監事酬勞分派政策，參閱附註十九。

由於本公司業務正值成長期，分配股利之政策，需視公司目前及未來之投資環境、資金需求、國內外競爭狀況及資本預算等因素，兼顧股東權益、平衡股利及公司長期財務規劃等，每年依法由董事會擬具分配案，提報股東會。當年度股東股利之發放，現金股利之分派比例不低於分派股利總額之 10%。

法定盈餘公積應提撥至其餘額達公司實收股本總額時為止。法定盈餘公積得用以彌補虧損。公司無虧損時，法定盈餘公積超過實收股本總額 25%之部分除得撥充股本外，尚得以現金分配。

本公司依金管證發字第 1010012865 號函、金管證發字第 1010047490 號函、金管證發字第 1030006415 號及「採用國際財務報導準則（IFRSs）後，提列特別盈餘公積之適用疑義問答」等規定提列及迴轉特別盈餘公積。

分配未分配盈餘時，除屬非中華民國境內居住者之股東外，其餘股東可獲配按股利分配日之稅額扣抵比率計算之股東可扣抵稅額。

本公司分別於106年3月8日及105年6月28日舉行董事會及股東常會，分別擬議及決議通過105及104年度盈虧撥補案，因105及104年底係待彌補虧損，故不予分派股利。

(四) 特別盈餘公積

本公司於首次採用 IFRSs 時，帳列累積換算調整數轉入保留盈餘之金額為158,644仟元，已予以提列相同數額之特別盈餘公積。

(五) 其他權益項目

1. 國外營運機構財務報表換算之兌換差額

	106年1月1日 至3月31日	105年1月1日 至3月31日
期初餘額	($ 37,273)	$ 56,040
國外營運機構財務報表換算之兌換差額	(71,761)	(19,977)
國外營運機構財務報表換算兌換差額之相關所得稅	12,199	3,396
期末餘額	($ 96,835)	$ 39,459

2. 備供出售金融資產未實現損益

	106年1月1日 至3月31日	105年1月1日 至3月31日
期初餘額	$ 2,048	$ 3,229
備供出售金融資產未實現損益	(17,383)	(27,119)
處分備供出售金融資產權益重分類至損益	117	(1)
期末餘額	($ 15,218)	($ 23,891)

十九、繼續營業單位淨損

繼續營業單位淨損係包含以下項目：

(一) 其他收入

	106年1月1日 至3月31日	105年1月1日 至3月31日
股利收入	$ 380	$ -
利息收入	329	60
	$ 709	$ 60

(二) 其他利益及損失

	106年1月1日 至3月31日	105年1月1日 至3月31日
透過損益按公允價值衡量之金融資產淨利益	$ 5,109	$ 2,938
處分備供出售金融資產利益（損失）	(117)	1
淨外幣兌換損失	(10,294)	(2,357)
其　他	(1,192)	283
	($ 6,494)	$ 865

透過損益按公允價值衡量之金融資產淨損益包括公允價值變動之利益於 106 年及 105 年 1 月 1 日至 3 月 31 日分別為 5,135 仟元及 2,518 仟元。

淨外幣兌換損益包括匯率變動之未實現外幣兌換損失於 106 年及 105 年 1 月 1 日至 3 月 31 日分別為 8,150 仟元及 206 仟元。

(三) 財務成本

	106年1月1日 至3月31日	105年1月1日 至3月31日
銀行借款利息	$ 4,024	$ 3,709

(四) 員工福利、折舊及攤銷費用

	106年3月31日			105年3月31日		
	屬於營業成本者	屬於營業費用者	合計	屬於營業成本者	屬於營業費用者	合計
用人費用						
薪資費用	$ 25,815	$ 8,795	$ 34,610	$ 24,310	$ 6,855	$ 31,165
員工保險費用	2,227	657	2,884	2,195	489	2,684
退休金費用	597	592	1,189	539	515	1,054
其他職工福利	304	43	347	246	28	274
折舊費用	14,899	387	15,286	16,436	501	16,937
攤銷費用	989	404	1,393	1,101	442	1,543

依 104 年 5 月修正後公司法及 105 年 6 月經股東會決議之修正章程，本公司係以當年度扣除分派員工及董監酬勞前之稅前利益提撥員工紅利 1%到 10%，董監事酬勞不高於 1%。惟截至 106 年 3 月底止，因係待彌補虧損，故未予估列員工紅利。

年度合併財務報告通過發布日後若金額仍有變動，則依會計估計變動處理，於次一年度調整入帳。

有關本公司 106 及 105 年董事會決議之員工酬勞及董監事酬勞資訊，請至臺灣證券交易所之「公開資訊觀測站」查詢。

二十、繼續營業單位所得稅

(一) 認列於損益之所得稅

所得稅利益之主要組成項目如下：

	106年1月1日 至3月31日	105年1月1日 至3月31日
當期所得稅		
本期產生者	$ 1,553	$ 64
遞延所得稅		
本期產生者	(148)	(147)
認列於損益之所得稅費用（利益）	$ 1,405	($ 83)

(二) 認列於其他綜合損益之所得稅

	106年1月1日 至3月31日	105年1月1日 至3月31日
遞延所得稅		
本期產生者		
國外營運機構財務報表換算之兌換差額	$ 12,199	$ 3,396

(三) 本公司及子公司稅率相關資訊如下：

	106年1月1日 至3月31日	105年1月1日 至3月31日
本 公 司	17%	17%
慧朋科技	17%	17%
昆山滬崴	25%	25%
昆山威興	25%	25%
昆山鐳崴	25%	25%

(四) 兩稅合一相關資訊

	106年3月31日	105年12月31日	105年3月31日
可扣抵稅額	$ 12,906	$ 12,906	$ 11,606

本公司截至106年3月31日止為待彌補虧損，故無盈餘可供分配，因是股東可扣抵稅額帳戶餘額將留待以後盈餘分配時配予股東。

(五) 所得稅核定情形

本公司截至104年度之所得稅申報案件業經稽徵機關核定。

二一、每股虧損

	106年1月1日 至3月31日	105年1月1日 至3月31日
基本每股虧損	($ 0.11)	($ 0.01)

用以計算每股虧損之分子及分母揭露如下：

	本期淨損 (分子)	股數(分母) (仟股)	每股淨損 (元)
106年1月1日至3月31日			
歸屬於本公司業主之淨損	($ 18,610)	161,896	($ 0.11)
105年1月1日至3月31日			
歸屬於本公司業主之淨損	($ 1,180)	161,896	($ 0.01)

二二、營業租賃協議

合併公司為承租人

營業租賃係承租小客車及員工宿舍，租期至109年10月前陸續到期。

截至106年3月31日暨105年12月31日及3月31日止，合併公司因營業租賃合約所支付之存出保證金（帳列存出保證金）分別為1,792仟元、1,416仟元及1,376仟元。

不可取消營業租賃之未來最低租賃給付如下：

	106年3月31日	105年12月31日	105年3月31日
1年內	$ 1,580	$ 1,366	$ 1,299
超過1年但不超過5年	1,612	32	783
	$ 3,192	$ 1,398	$ 2,082

二三、資本風險管理

合併公司進行資本管理以確保集團內各企業能夠於繼續經營之前提下，藉由將債務及權益餘額最適化，以使股東報酬極大化。合併公司資本結構係由合併公司之歸屬於本公司業主之權益（即股本、資本公積、保留盈餘及其他權益項目）組成。

合併公司主要管理階層每季重新檢視集團資本結構，其檢視內容包括考量各類資本之成本及相關風險。合併公司依據主要管理階層之建議，將藉由支付股利、發行新股、買回股份及發行新債或償付舊債等方式平衡其整體資本結構。

二四、金融工具

(一) 公允價值之資訊－以重複性基礎按公允價值衡量之金融工具

1. 公允價值層級

106 年 3 月 31 日

	第 1 等級	第 2 等級	第 3 等級	合計
透過損益按公允價值衡量之金融資產				
衍生工具	$ -	$ 498	$ -	$ 498
持有供交易之非衍生性金融資產	132,266	-	-	132,266
結構式存款	-	-	30,772	30,772
備供出售金融資產				
國內上（興）櫃有價證券	242,996	-	-	242,996
	$ 375,262	$ 498	$ 30,772	$ 406,532

105 年 12 月 31 日

	第 1 等級	第 2 等級	第 3 等級	合計
透過損益按公允價值衡量之金融資產				
持有供交易之非衍生性金融資產	$ 98,835	$ -	$ -	$ 98,835
結構式存款	-	-	32,543	32,543
備供出售金融資產				
國內上（興）櫃有價證券	259,212	-	-	259,212
	$ 358,047	$ -	$ 32,543	$ 390,590
透過損益按公允價值衡量之金融負債				
衍生工具	$ -	$ 381	$ -	$ 381

105 年 3 月 31 日

	第 1 等級	第 2 等級	第 3 等級	合計
透過損益按公允價值衡量之金融資產				
衍生工具	$ -	$ 305	$ -	$ 305
持有供交易之非衍生性金融資產	58,205	-	-	58,205
結構式存款	-	-	100,389	100,389
備供出售金融資產				
國內上櫃有價證券	100,257	-	-	100,257
	$ 158,462	$ 305	$ 100,389	$ 259,156

106 年及 105 年 1 月 1 日至 3 月 31 日無第 1 等級與第 2 等級公允價值衡量間移轉之情形。

2. 金融工具以第 3 等級公允價值衡量之調節

106 年 1 月 1 日至 3 月 31 日

	透過損益按公允價值衡量結構式存款
期初餘額	$ 32,543
匯率變動之影響	(1,771)
期末餘額	$ 30,772

105 年 1 月 1 日至 3 月 31 日

	透過損益按公允價值衡量結構式存款
期初餘額	$ -
認列於損益－未實現	775
購　買	99,614
期末餘額	$100,389

3. 第 2 等級公允價值衡量之評價技術及輸入值

金融工具類別	評價技術及輸入值
衍生工具－遠期外匯合約	現金流量折現法：按期末之可觀察遠期匯率及合約所訂匯率估計未來現金流量，並以可反映各交易對方信用風險之折現率分別折現。

4. 第 3 等級公允價值衡量之評價技術及輸入值

結構式存款係計算預期可因持有此項投資而獲取收益之現值。

(二) 金融工具之種類

	106年3月31日	105年12月31日	105年3月31日
金融資產			
透過損益按公允價值衡量	$ 163,536	$ 131,378	$ 158,899
放款及應收款（註1）	632,948	704,864	586,118
備供出售金融資產（註2）	281,719	297,935	170,054
	$1,078,203	$1,134,177	$ 915,071
金融負債			
透過損益按公允價值衡量	$ -	$ 381	$ -
以攤銷後成本衡量（註3）	931,054	982,602	857,549
	$ 931,054	$ 982,983	$ 857,549

註 1： 餘額係包含現金及銀行存款、應收票據、應收帳款、其他應收款、其他流動資產、存出保證金等以攤銷後成本衡量之放款及應收款。

註 2： 餘額係包含備供出售金融資產及以成本衡量金融資產。

註 3： 餘額係包含短期借款、應付短期票券、應付票據、應付帳款、部分其他應付款、部分其他流動負債及長期借款等以攤銷後成本衡量之金融負債。

(三) 財務風險管理目的與政策

合併公司財務風險管理目標，係為管理與營運活動相關之匯率風險、信用風險及流動風險。為降低相關財務風險，合併公司致力於辨認、評估並規避市場之不確定性，以降低市場變動對公司財務績效之潛在不利影響。

合併公司之重要財務活動，係經董事會依相關規範及內部控制制度進行覆核。於財務計劃執行期間，合併公司必須恪遵關於整體財務風險管理及權責劃分之相關財務操作程序。

1. 市場風險

合併公司之營運活動使合併公司承擔之主要財務風險為外幣匯率變動風險。

(1) 匯率風險

合併公司於資產負債表日非功能性貨幣計價之貨幣性資產與貨幣性負債帳面金額（包括合併財務報表中已沖銷之非功能性貨幣計價之貨幣性項目），參閱附註二七。

合併公司主要受到美金及日幣匯率波動之影響，因外幣交易而產生重大之資產及負債金額，雖外幣資產及負債因市場匯率變動而產生之損益有互抵效果，惟合併公司外幣資產金額與外幣負債金額顯有差異，因此承受外匯風險。當美金對新台幣升值3%時，於106年及105年1月1日至3月31日之稅前淨利將分別增加3,505仟元及2,619仟元。當日幣對新台幣升值3%時，於106年及105年1月1日至3月31日之稅前淨利將分別減少897仟元及2,380仟元。

(2) 利率風險

利率風險係因市場之變動而導致金融工具之公允價值或未來現金流量波動之風險。

合併公司於資產負債表日受利率暴險之金融負債帳面金額如下：

	106年3月31日	105年12月31日	105年3月31日
具現金流量利率風險			
一金融負債	$ 766,426	$ 795,363	$ 664,832

下列敏感度分析係計算浮動利率負債於資產負債表日之利率暴險，其分析方式係假設資產負債表日流通在外之負債金額於整年度皆流通在外。

若利率增加1%時，在所有其他變數維持不變之情況下，合併公司106年及105年1月1日至3月31日之稅前淨利將分別減少1,916仟元及1,662仟元。

(3) 權益證券價格風險

權益證券之市場風險包含個別權益證券市場價格變動所產生之個別風險，及因整體市場價格變動所產生的一般市場風險。合併公司因權益價格上漲 1%時，106 年及 105 年 1 月 1 日至 3 月 31 日之稅前淨利將因透過損益按公允價值衡量之金融資產公允價值之變動分別增加 1,323 仟元及 582 仟元；106 年及 105 年 1 月 1 日至 3 月 31 日之其他綜合損益將因備供出售金融資產公允價值之變動分別增加 2,430 仟元及 1,003 仟元。

2. 信用風險

信用風險係指交易對方拖欠合約義務而造成集團財務損失之風險。截至資產負債表日，合併公司可能因交易對方未履行義務及合併公司提供財務保證造成財務損失之最大信用風險暴險（不考慮擔保品或其他信用增強工具，且不可撤銷之最大暴險金額）主要係來自於合併資產負債表所認列之金融資產帳面金額。

合併公司採行之政策係僅與信譽卓著之對象進行交易，並於必要情形下取得足額之擔保以減輕因拖欠所產生財務損失之風險。

為減輕信用風險，合併公司於資產負債表日會逐一複核應收款項之可回收金額以確保無法回收之應收款項已提列適當減損損失。據此，本公司管理階層認為合併公司之信用風險已顯著減少。

另因流動資金及衍生金融工具之交易對方係國際信用評等機構給予高信用評等之銀行，故該信用風險不高。

應收帳款之對象涵蓋眾多客戶，分散於不同地理區域。合併公司持續地針對應收帳款客戶之財務狀況、信評機構評等、合併公司內部信用評等、歷史交易紀錄等多項可能影響客戶付款能力之因素進行評估。合併公司亦會使用以預收貨款方式銷貨等措施，以降低特定客戶的信用風險。

截至 106 年 3 月 31 日暨 105 年 12 月 31 日及 3 月 31 日，前十大客戶之應收帳款餘額占合併公司應收帳款餘額之百分比分別為 49%、47%及 42%，其餘應收帳款之信用集中風險相對並不重大。

3. 流動性風險

合併公司係透過管理及維持足夠部位之現金及約當現金以支應集團營運並減輕現金流量波動之影響。合併公司管理階層監督銀行融資額度使用狀況並確保借款合約條款之遵循。

銀行借款對合併公司而言係為一項重要流動性來源。截至 106 年 3 月 31 日暨 105 年 12 月 31 日及 3 月 31 日止，合併公司未動用之短期銀行融資額度分別為 390,646 仟元、421,001 仟元及 596,924 仟元。

流動性及利率風險表

下表詳細說明合併公司已約定還款期間之非衍生金融負債剩餘合約到期分析，其係依據合併公司最早可能被要求還款之日期，並以金融負債未折現現金流量編製，其包括利息及本金之現金流量。

合併公司之非衍生金融負債到期分析係依照約定之還款日編製。

106 年 3 月 31 日

	1 年 以 下	1 至 5 年	合 計
非衍生金融負債			
短期借款	$ 490,487	$ -	$ 490,487
短期票券	55,000	-	55,000
應付票據及帳款	123,977	-	123,977
其他應付款	50,177	-	50,177
長期借款	44,000	177,000	221,000

105 年 12 月 31 日

	1 年 以 下	1 至 5 年	合 計
非衍生金融負債			
短期借款	$ 508,374	$ -	$ 508,374
短期票券	55,000	-	55,000
應付票據及帳款	140,334	-	140,334
其他應付款	57,861	-	57,861
長期借款	44,000	188,000	232,000

105 年 3 月 31 日

	1年以下	1至5年	合 計
非衍生金融負債			
短期借款	$ 374,856	$ -	$ 374,856
短期票券	25,000	-	25,000
應付票據及帳款	102,454	-	102,454
其他應付款	99,207	-	99,207
長期借款	44,000	221,000	265,000

二五、關係人交易

(一) 背書保證

截至 106 年 3 月 31 日暨 105 年 12 月 31 日及 3 月 31 日止，本公司為關係人背書保證情形如下：

	106年3月31日		105年12月31日		105年3月31日	
關係人類別	總 額 度	動用額度	總 額 度	動用額度	總 額 度	動用額度
子公司	$ 163,782	$ 21,314	$ 174,150	$ 16,995	$ 173,799	$ 13,951

(二) 主要管理階層薪酬

	106年1月1日 至3月31日	105年1月1日 至3月31日
短期員工福利	$ 3,013	$ 2,598
退職後福利	72	57
	$ 3,085	$ 2,655

二六、質抵押之資產

下列資產係提供作為合併公司銀行借款及履約保證之擔保品：

	106年3月31日	105年12月31日	105年3月31日
土 地	$ 113,167	$ 113,167	$ 113,167
房屋及建築	136,650	136,914	139,089

二七、具重大影響之外幣資產及負債資訊

以下資訊係按合併公司各個體功能性貨幣以外之外幣彙總表達，所揭露之匯率係指該等外幣換算至功能性貨幣之匯率。具重大影響之外幣資產及負債如下：

單位：各外幣／新台幣仟元

	106年3月31日			105年12月31日			105年3月31日		
	外幣	匯率	新台幣	外幣	匯率	新台幣	外幣	匯率	新台幣
金融資產									
貨幣性項目									
美金	$ 3,981	30.33	$ 120,728	$ 8,095	32.25	$ 261,064	$ 5,458	32.185	$ 175,665
日幣	65,740	0.272	17,850	60,583	0.276	16,697	215,131	0.287	61,637
金融負債									
貨幣性項目									
美金	128	30.33	3,882	3,676	32.25	118,551	2,745	32.185	88,358
日幣	175,897	0.272	47,760	172,118	0.276	47,512	492,292	0.287	140,959

合併公司於106年及105年1月1日至3月31日外幣兌換損益(已實現及未實現)請參閱附註十九，由於外幣交易繁多，故無法按各重大影響之外幣別揭露兌換損益。

二八、重大之期後事項

合併公司為從事多角化經營，於106年4月18日經臨時董事會決議以30,600仟元投資凱德精密工業有限公司612仟股，並取得51%之股權。

二九、附註揭露事項

(一) 重大交易事項及(二)轉投資事業相關資訊

1. 資金貸與他人：附表一。
2. 為他人背書保證：附表二。
3. 期末持有有價證券情形：附表三。
4. 累積買進或賣出同一有價證券之金額達新台幣3億元或實收資本額20%以上：無。
5. 取得不動產之金額達新台幣3億元或實收資本額20%以上：無。
6. 處分不動產之金額達新台幣3億元或實收資本額20%以上：無。
7. 與關係人進、銷貨之金額達新台幣1億元或實收資本額20%以上：無。
8. 應收關係人款項達新台幣1億元或實收資本額20%以上：無。

9. 從事衍生工具交易：附註七及二四。

10. 被投資公司名稱、所在地區....等相關資訊：附表四。

(三) 大陸投資資訊：附表五。

(四) 母子公司間及各子公司間之業務關係及重要交易往來情形及金額：附表六。

三十、營運部門財務資訊

合併公司已於105年度起結束貿易事業部門之經銷業務，依IFRS 8「營運部門」之規定，因合併公司自 105 年起制定營運事項決策時主要係以鑽頭事業部門之資訊為基礎，故合併公司為單一營運部門，無需揭露營運部門財務資訊。

凱崴電子股份有限公司及其轉投資公司

資金貸與他人

民國 106 年 1 月 1 日至 3 月 31 日

附表一

單位：新台幣仟元

編號	貸出資金之公司	貸與對象	往來項目	是否為關係人	本期最高餘額	期末餘額	實際動支金額	利率區間 %	資金貸與性質	業務往來金額	有短期融通資金必要之原因	提列備抵呆帳金額	擔保品 名稱	擔保品 價值	對個別對象資金貸與限額（註一）	資金貸與最高限額（註一）
1	本公司	昆山滬崴電子有限公司等五家（註二）	其他應收款－關係人	是	$ 100,000	$ 100,000	$ -	-	業務往來	$ 132,026	轉投資公司營運週轉	$ -	—	$ -	$ 164,539	$ 658,157

註一：依本公司「資金貸與他人作業辦法」規定貸與他人資金之總額以不超過本公司最近期經會計師查核簽證或核閱之財務報表淨值之百分之四十為限。有資金融通之必要者，個別貸與金額，不得超過貸出資金之公司淨值之百分之十。

註二：105 年 5 月 11 日董事會通過之本公司資金貸與 100%轉投資公司一案。本公司擬資金貸與 100%轉投資公司(含 KEY WARE INTERNATIONAL LIMITED、ADVISOR MOVE INVESTMENTS LIMITED、MODULE SYSTEM INTERNATION LIMITED、昆山滬崴電子有限公司及昆山威興電子有限公司）短期融通，資金貸與總額以新台幣壹億元整（或等值外幣）為限，並授權董事長於董事會決議後一年內分次撥貸或循環動用。

凱崴電子股份有限公司及其轉投資公司

為他人背書保證

民國 106 年 1 月 1 日至 3 月 31 日

附表二

單位：新台幣／日幣／美金仟元

編號	背書保證者公司名稱	被背書保證對象		對單一企業背書保證限額（註一）	本期最高背書保證餘額	期末背書保證餘額	實際動支金額	以財產擔保之背書保證金額	累計背書保證金額佔最近期財務報告淨值之比率	背書保證最高限額（註一）	屬母公司對子公司背書保證	屬子公司對母公司背書保證	屬對大陸地區背書保證
		公司名稱	關係										
0	本公司	ADVISOR	採權益法評價之被投資公司(子公司)	$ 329,078	$ 163,782 (USD 5,400)	$ 163,782 (USD 5,400)	$ 21,314 (JPY 78,495)	$ -	9.95%	$ 987,235	Y	N	N

註一：依本公司背書保證作業程序辦法，累計對外背書保證總額以不超過本公司最近期經會計師查核簽證或核閱之財務報告淨值之百分之六十為限，對單一企業背書保證金額不得超過前述淨值百分之二十。

註二：上述涉及日幣之資產負債金額依中國人民銀行 3 月底日幣與人民幣匯率 1：0.0618 換算人民幣，再以中國人民銀行 3 月底美金與人民幣匯率 1：6.8993 換算美金，最後以台灣銀行 3 月底美金與新台幣匯率 1：30.33 換算新台幣。

凱崴電子股份有限公司及其轉投資公司

期末持有有價證券情形

民國 106 年 3 月 31 日

附表三

單位：新台幣仟元

持有之公司	有價證券及名稱	與有價證券發行人之關係	帳列科目	期末 股數（仟股）	期末 帳面金額	期末 持股比率（%）	期末 市價／股權淨值	備註
本公司	股票及受益憑證							
	元大 ETF 傘型證券投資信託基金之台灣 50 單日反向 1 倍證券投資信託基金	—	透過損益按公允價值衡量之金融資產－流動	2,900	$ 43,645	-	$ 43,645	註二
	Silicon Motion Technology Corporation	—	透過損益按公允價值衡量之金融資產－流動	63	88,621	0.18	88,621	註二
	展旺生命科技股份有限公司	—	備供出售金融資產	9,187	237,931	3.73	237,931	註二
	經緯航太科技股份有限公司	—	備供出售金融資產	148	5,065	0.65	5,065	註四
	漢宇創業投資股份有限公司	—	以成本衡量之金融資產－非流動	2,000	15,923	4.44	21,537	註一
	Concord Venture Capital Group Limited	—	以成本衡量之金融資產－非流動	772	22,800	13.57	23,389	註三

註一：係以該公司 105 年度經會計師查核之財務報告計算。

註二：透過損益按公允價值衡量之金融資產及備供出售金融資產中屬上市及上櫃公司股票者，市價係依照 106 年 3 月 31 日之收盤價計算。

註三：係以該公司 106 年 1 月 1 日至 3 月 31 日未經會計師核閱之財務報告計算。

註四：備供出售金融資產屬興櫃公司股票者，市價係以該公司 106 年 3 月 31 日之最後交易價格計算。

凱崴電子股份有限公司及其轉投資公司

被投資公司名稱、所在地區...等相關資訊

民國 106 年 1 月 1 日至 3 月 31 日

附表四

單位：新台幣／美金／人民幣仟元

投資公司名稱	被投資公司名稱	所在地區	主要營業項目	原始投資金額		期末持有			被投資公司本期利益（損失）	本期認列之投資利益（損失）	備註
				本期期末	上期期末	股數（仟股）	比率(%)	帳面金額			
凱崴電子股份有限公司	Key Ware International Limited	Trustnet Chambers, P.O. Box 3444, Road Town, Tortola, B.V.I.	一般投資	USD 23,717	USD 23,717	23,717	100.00	$ 1,242,611	($ 5,996) (RMB 1,341)	($ 5,996) (RMB 1,341)	註一
	慧朋科技股份有限公司	台灣省台北市大安區敦化南路二段 76 號 4 樓	電子零件、機械設備	1,000	1,000	100	99.99	970	-	-	註二
	榮沛科技股份有限公司	台灣省台北市大安區敦化南路二段 76 號 4 樓	一般投資	8,333	8,333	833	22.73	6,433	1,690	384	註二
Key Ware International Limited	Advisor Move Investments Limited	Trustnet Chambers, P.O. Box 3444, Road Town, Tortola, B.V.I.	一般投資	USD 9,960	USD 9,960	9,960	100.00	RMB 176,483	(RMB 1,326)	(RMB 1,326)	註一
	Module System International Limited	Scotia Centre, 4th Floor, P.O. Box 2804, George Town, Grand Cayman, Cayman Islands	一般投資	USD 12,932	USD 12,932	12,932	100.00	RMB 105,858	(RMB 9)	(RMB 9)	註一

註一：係以該公司 106 年 1 月 1 日至 3 月 31 日經會計師核閱之財務報告計算。

註二：係以該公司 106 年 1 月 1 日至 3 月 31 日未經會計師核閱之財務報告計算。

註三：大陸被投資公司相關資訊請參閱附表五。

凱崴電子股份有限公司

大陸投資資訊

民國 106 年 1 月 1 日至 3 月 31 日

附表五

單位：新台幣／美金／人民幣仟元

大陸被投資公司名稱	主要營業項目	實收資本額	投資方式	本期期初自台灣匯出累積投資金額	本期匯出或收回投資金額		本期期末自台灣匯出累積投資金額	被投資公司本期損益	本公司直接或間接投資之持股比例	本期認列投資（損）益（註一）	期末投資帳面價值	截至本期止已匯回投資收益
					匯出	收回						
昆山滬崴電子有限公司	鑽孔工具、手工用具	$ 333,630 USD 11,000	透過第三地區投資設立公司再投資大陸公司	$ 255,985 USD 8,440	$ -	$ -	$ 255,985 USD 8,440	($ 5,965) (RMB 1,321)	100%	($ 5,861) (RMB 1,298)	$ 766,359 RMB 174,327	$ -
昆山威興電子有限公司	鑽孔工具、手工用具	399,355 USD 13,167	透過第三地區投資設立公司再投資大陸公司	399,355 USD 13,167	-	-	399,355 USD 13,167	-	100%	-	457,027 RMB 103,962	-
昆山鐳崴光電科技有限公司	鐳射鑽孔代工	8,792 RMB 2,000	透過昆山滬崴電子有限公司投資大陸公司	-	-	-	-	(7,821) (RMB 1,732)	100%	(7,821) (RMB 1,732)	3,376 RMB 768	-

本期期末累計自台灣匯出赴大陸地區投資金額	經濟部投審會核准投資金額	依經濟部投審會規定赴大陸地區投資限額
$672,022（USD22,157）	$734,805（USD24,227）	$987,235（註三）

註一：係依被投資公司 106 年 1 月 1 日至 3 月 31 日經會計師核閱之財務報告認列。

註二：上述涉及美金之資產及損益金額分別依台灣銀行 3 月底及 1 至 3 月美金買進賣出平均匯率 1：30.330 及 1：31.095 換算新台幣。

註三：依據「在大陸地區從事投資或技術合作審查原則」規定，投資人對大陸投資累計金額不得超過淨值或合併淨值之 60%，其較高者。

註四：上述涉及人民幣之資產負債金額依中國人民銀行 3 月底美金與人民幣匯率 1：6.8993 換算美金，再以台灣銀行 3 月底美金與新台幣匯率 1：30.330 換算新台幣。

註五：上述涉及人民幣之損益金額依中國人民銀行 1 至 3 月美金與人民幣匯率 1：6.8861 換算美金，再以台灣銀行 1 至 3 月美金與新台幣匯率 1：31.095 換算新台幣。

凱崴電子股份有限公司及其轉投資公司

母子公司間業務關係及重要交易往來情形

民國 106 年 1 月 1 日至 3 月 31 日

附表六

單位：新台幣仟元

編號（註一）	交易人名稱	交易往來對象	與交易人之關係（註二）	交易往來情形			
				科目	金額（註五）	交易條件	佔合併總營收或總資產之比率（註六）
0	本公司	昆山滬崴	1	應收帳款	$ 16,333	註三	0.59
		昆山滬崴	1	應付帳款	34,427	註四	1.25
		昆山滬崴	1	銷貨成本	37,406	註四	18.87
		昆山滬崴	1	銷貨收入	40,489	註三	20.43
		昆山滬崴	1	未實現銷貨毛利	721	—	0.36
		昆山滬崴	1	已實現銷貨毛利	1,055	—	0.53
1	ADVISOR	昆山滬崴	3	應收帳款	13,497	註三	0.49
		昆山滬崴	3	銷貨收入	396	註三	0.20
		昆山滬崴	3	折舊費用	101	—	0.05
2	昆山滬崴	昆山鐳崴	3	其他應收款	15,780	—	0.57
		昆山鐳崴	3	什項收入	3,043	—	1.54

註一：母公司及子公司相互間之業務往來資訊應分別於編號欄註明，編號之填寫方法如下：

1.母公司填 0。

2.子公司依公司別由阿拉伯數字 1 開始依序編號。

註二：與交易人之關係有以下三種，標示種類即可：

1.母公司對子公司。

2.子公司對母公司。

3.子公司對子公司。

註三：交易價格係以成本為基礎，並由雙方參考市場行情議價辦理，交易條件為月結 180 天。

註四：交易價格係以成本為基礎，並由雙方參考市場行情議價辦理，交易條件為月結 120 天。

註五：編製合併報表時，母子公司間交易業已沖銷。

註六：交易往來金額佔合併總營收或總資產比率之計算，若屬資產負債科目者，以期末餘額佔合併總資產之方式計算；若屬損益科目者，以期中累積金額佔合併總營收之方式計算。